

【2022年卒】インターンシップで「直接訪問」「オンライン」両方の選択肢がある場合、「直接訪問」を選択する学生が64.9%。

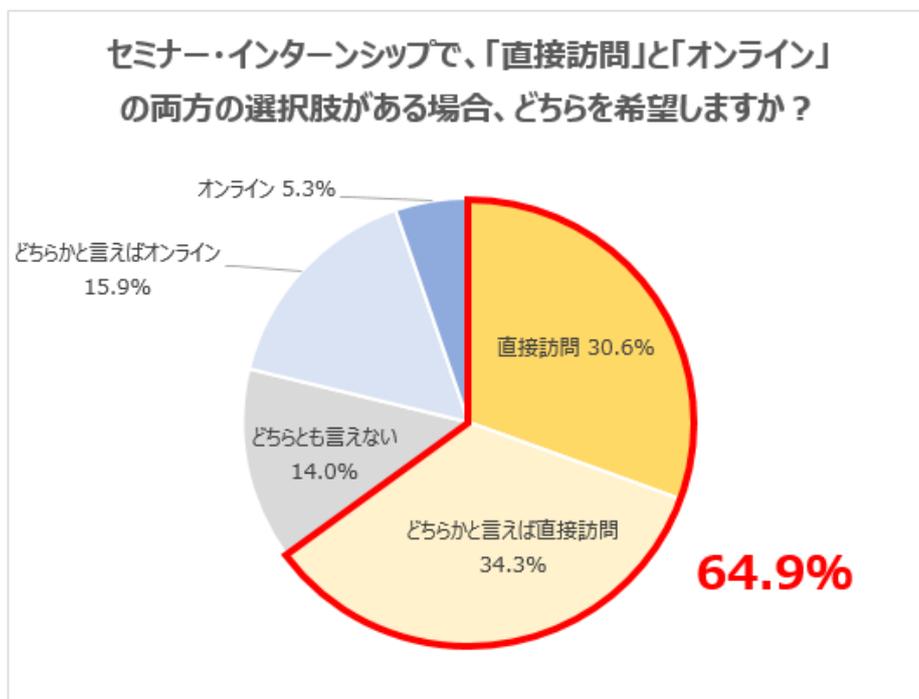
「企業の雰囲気を知りたいから」「直接話すことに価値があると思うから」の声。

株式会社学情は、新型コロナウイルスの感染拡大やテレワークの推奨を受け、2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「インターンシップの参加方法」に関して調査しました。インターンシップで「直接訪問」「オンライン」両方の選択肢がある場合は、「直接訪問」を希望する学生が64.9%となり、「直接訪問」を希望する学生が多いことが分かります。学生からは、「企業の雰囲気など、Webでは得られない情報を得たい」「直接話すことに価値があると思う」「志望度の高い企業は直接参加したい」などの声が寄せられました。

【TOPICS】

- (1) 「直接訪問」「オンライン」両方の選択肢がある場合は、「直接訪問」を希望する学生が64.9%
- (2) インターンシップの実施が「オンライン」のみの場合、「自宅などから気軽に参加できていい」51.8%と「別途直接訪問できる機会も設けて欲しい」48.7%がほぼ同数に

(1) 「直接訪問」「オンライン」両方の選択肢がある場合は、「直接訪問」を希望する学生が64.9%



インターンシップで「直接訪問」「オンライン」両方の選択肢がある場合は、「直接訪問」を希望する学生が64.9%となり、「直接訪問」を希望する学生が多いことが分かります。学生からは、「企業の雰囲気など、Webでは得られない情報を得たい」「直接話すことに価値があると思う」「志望度の高い企業は直接参加したい」などの声が寄せられました。

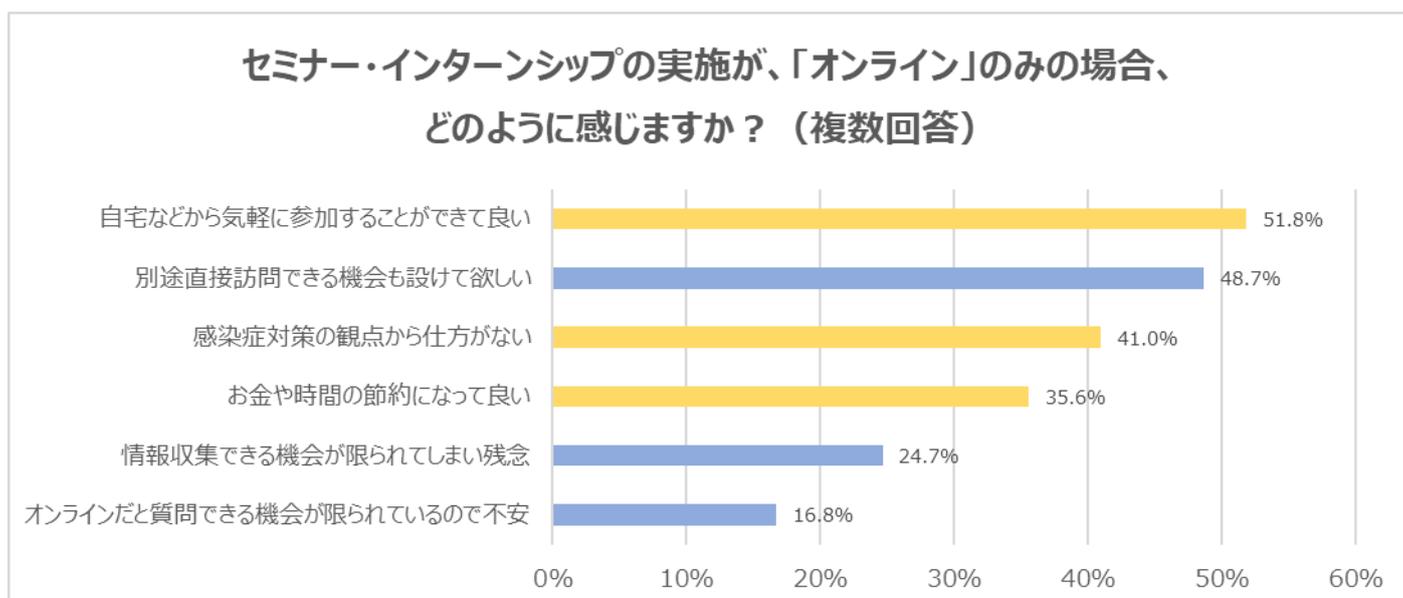
■「直接訪問」で参加したいと回答した学生の声

- ・企業の雰囲気など、Web では得られない情報を得たい
- ・志望度の高い企業は直接参加したい
- ・職場体験、仕事体験は「直接体験」してこそだと思ふ
- ・オンラインは交通費などの出費を抑えることができるが、企業のことを理解するためには、直接訪問したい
- ・就職活動準備のために「緊張感のある場」に慣れたい
- ・直接訪問のほうが、自身のアピールにもつながると思う
- ・夏にオンラインで参加したので、次回は「直接訪問」したい

■「オンライン」で参加したいと回答した学生の声

- ・多くのインターンシップに、地方からでも参加できる
- ・参加日程の調整をしやすい
- ・時間やお金を節約できる分、スキルアップのための自己研鑽や自己分析に力を入れることができる

(2) インターンシップの実施が「オンライン」のみの場合、「自宅などから気軽に参加できていい」51.8%と「別途直接訪問できる機会も設けて欲しい」48.7%がほぼ同数に



「インターンシップの実施が『オンライン』のみの場合に感じる点」では、「自宅などから気軽に参加することができて良い」51.8%と「別途直接訪問できる機会を設けて欲しい」48.7%が、ほぼ同数となりました。参加ハードルの低い「オンライン」を有効活用したいという意向とともに、「直接訪問」でより企業理解を深めたいというニーズも根強くあると伺えます。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2022（通年採用対応ジョブ型 インターンシップサイト）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「あさがくナビ 2022」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2020年10月8日～10月12日
- ・有効回答数：1,200名

東証一部上場

学情

